信念対立解明思考を促進する対立意見の提示法

瀬田研究室 1161100239 正門和己

研究背景

“先入観や凝り固まった自分の考えに固執しないのが知性”（齋藤孝, 2010）

正解のない社会問題において
自分と対立する意見にも触れ，再考することは重要である

現代社会には他者の意見に触れる機会が十分にある(テレビ, SNS等)

しかし

無意識のうちに自分のもっている期待や予測に合う情報を求め
期待に反した情報にはほとんど注意を払わなくなる（信念バイアス）
その結果，自分の信念がさらに強化され固執してしまう傾向に陥る

着想

多様な意見を客観的に捉えて，
自他の意見を相対化することができれば，
信念対立解明思考の促進につながる

信念対立解明思考とは・・

自分と対立する信念や価値観の根底にある考えを理解し
承認した上で自分の意見をもう一度考え直す思考プロセス
（京極, 2011）

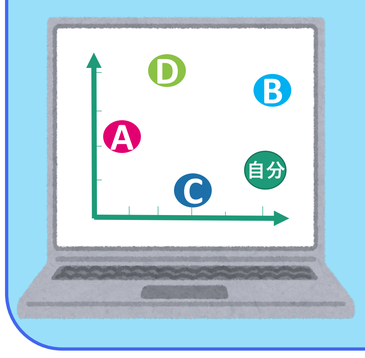
研究目的

信念対立解明思考の促進を目的とした，自他の意見の相対化による対立意見の提示

アプローチ

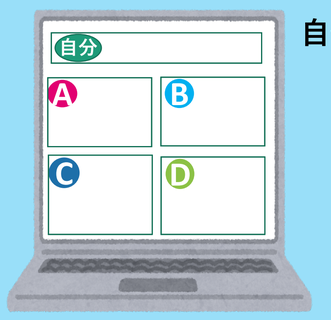
①自他の意見の相対化

- 選択した社会問題のSNSコメントをクラスタリングして可視化
- 各クラスタの特徴を分析することで，自他の意見を相対化

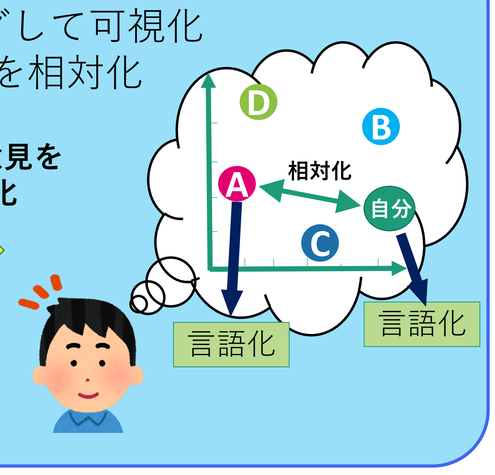


各クラスタの特徴を分析

クラスタリング手順
① Doc2vecで文書をベクトル化
② t-SNEで二次元圧縮
③ K-meansでクラスタリング



自他の意見を相対化

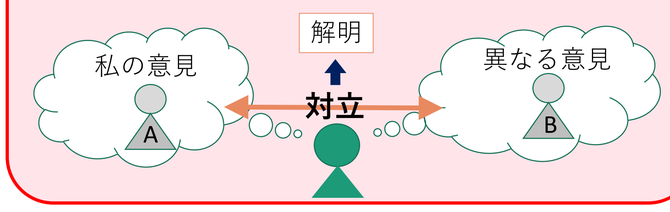


②信念対立解明思考の促進

自分と対立する意見を認知した上で
信念対立解明アプローチを実践

信念対立解明アプローチとは・・

信念対立の様相を解明し，自他 の疑義の余地無き
信念を揺り崩すことでこれを解消する方法論
（瀬田・松田・池田, 2014）



提案手法

開発環境：Tkinter+Doc2vec+t-SNE+Kmeans+matplotlib+Twitter API (Python)

- ***テーマの設定 (例：憲法改正)***
- ***テーマに関する自分の意見を記述***

①クラスタリング結果の分析により自他の意見を相対化

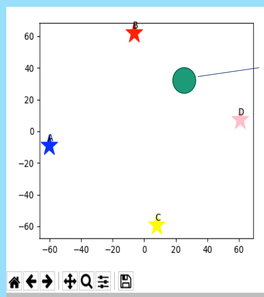
クラスタ:A

- 自衛隊が合憲であるという理解を元に事態をズルズル追認するような改憲へ世論が流れてしまいそうで心配.
- 憲法の条項と自衛隊の存在はあまりに不自然すぎる

↓

自衛隊の存在を疑っているツイートが多かった.
そして憲法改正の行末を不安視していて，どちらかというと憲法改正に対してネガティブなように思えた.

クラスタ内の概要を表していると思うツイートをいくつか列挙
↓
クラスタの内容を要約



自分の意見

自分の考え
改憲することで集団的自衛権を行使することになれば戦争が起きる可能性が高まる.
現在，平和なので憲法改正は必要ないように思える.

①各クラスタの内容を分析

クラスタ:A
- 自衛隊が合憲であるという理解を元に事態をズルズル追認するような改憲へ世論が流れてしまいそうで心配.
- 憲法の条項と自衛隊の存在はあまりに不自然すぎる

↓
自衛隊の存在を疑っているツイートが多かった.
そして憲法改正の行末を不安視していて，どちらかというと憲法改正に対してネガティブなように思えた.

クラスタ:B
- 日本の考えは甘い．現状の憲法と甘々な態度のままで平和が続くというワガママが通ると思っているに違いない.
- 憲法の前提が時代に即していないし，改憲反対派の人はそこに触れないことが多い

↓
現状の憲法に対する考えの甘さについて嘆いているツイートがいくつか見られた.
つまり憲法改正は必要であるということ.

クラスタ:C
- 日本の洗脳的な教えは古いように思える．もし日本の憲法が嫌なら他国へ行けばいいのに.
- 日本をアメリカの従属国とする第９条という呪縛を解けるのは安倍政権しかない．自国は自国の軍で守ることが当たり前.

↓
憲法改正に対して賛成の意見が多かった.
また，その理由としてアメリカと日本の関係について述べているツイートも見られた.

クラスタ数:D
- 安倍政権下での憲法改正は反対と言ってる人たちは意味がわからない．もっと改憲内容について議論しないといけない.
- 日本国憲法の生い立ち，歴史的事実を知らずにあたかも忘れたかのように議論が行われている．今こそ過去を思い起こすべきだ.

↓
憲法改正に対する議論のあり方について述べているツイートがいくつかあり，特徴的だった.
単に批判するのではなく，内容を重視すべきである.

信念対立
現在の憲法は非現実的な側面も含んでいるが，現実的に考えるということは戦争も視野に入れるということなのか.

対立する考え
他国が侵攻してこないことを前提とした憲法で，非現実的である.
改正することが望ましい.

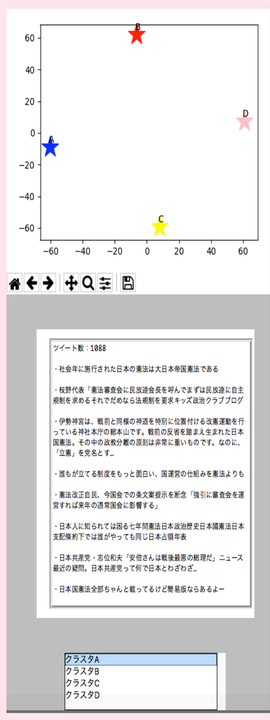
クラスタに含まれるツイートを表示

クラスタの選択

②クラスタの分析をした後，自分の意見に変化があれば記述

③自分とは異なる対立意見の中から１つ選んで記述

②信念対立解明アプローチの実施



場面
憲法改正が現実味を帯びてきた中，改憲に関する議論が活発になっている.

信念対立
現在の憲法は非現実的な前提のもとに成り立っているので改正すべきだという意見に注目する

私の意見
改憲することで集団的自衛権を行使することになれば戦争が起きる可能性が高まるので改正は必要ない

異なる意見
現在の憲法は他国が侵攻してこないことを前提としていて侵攻のリスクが高い

私の関心・目的
現在の日本で戦争はないのに戦うことを可能にする必要はあるのか

異なる関心・目的
歴史について詳しいのは自分だし，相手の考えが浅はかに感じる

私の背景
自分たちが平和でいることが優先．変化に対してネガティブな考え

異なる背景
自分の考えは正しいと思えば，実行するべきだと考える.

共通する状況
憲法改正に対して積極的に考えている.
同じ日本人という立場.

共通する目標
憲法改正について賛成と反対という逆の立場ではあるが，日本を平和にしたいという思いは共通している

目標達成のための具体的なアクションプラン
相手の絶対正しいという言い方はスルーし，平和を実現することに対する相手の理由に目を向けて改善案を出す.

フィールド	汎化質問	質問	答え
私の意見	何が問題になっているのか	信念対立に対するあなたの意見は？	現実的に考えるというのは戦争をすることも視野に入れるということなのか
私の関心・目的	何に関心があるのか	改憲は必要ないことのといった真意は？	現状を維持することが最適だと考える
私の背景	信念対立によってどういった状況に陥ると思うか	改憲の対立で日本はどうなるか	より素晴らしい案が出ると思う
異なる意見	争点はなんなのか	賛成　反対を分けている理由は何なのか	改憲した場合についてあいての考えが浅い
異なる関心・目的	妥当だと言える根拠は？	相手の考えが浅はかだと言える理由は？	現状に満足していて未来のことを考えている様子がない
異なる背景	背景が変われば どうなるか	自分が相手の考えを聞き入れる人間だったらどうなるか	今後平和であり続けると考えてる理由を調べる
共通する状況	共通する状況認識は？	共通する考え方はあるか	平和を意図して考えている
共通する目標	目標は適切か	お互い平和にしたいというのは適切か	侵攻されるリスクについてお互い考えているので適切
目標達成のための具体的なアクションプラン	目標はいつ達成するか	目標達成のキーパーソンは？	私だと思う 改憲すればどうなるのかをもっと知る必要がある

解明フェーズ

上から下へ書き進めていくことで自分の意見と，対立意見を深掘りし，
信念対立を解明する.

問いフェーズ

解明フェーズを進める過程で
問いを与えることによって，
さらに洞察を深める

フィールド	汎化質問	質問	考え
異なる関心と目的	妥当だと言える根拠は？	相手の考えが浅はかだと言える理由は？	改憲した後の将来を考えている様子がない

- 汎化質問を与えることで，自力で解明フェーズを解き進めるだけでは深掘りできなかったところまで支援

今後の課題

- 有用性の確認
- 選択できる学習テーマの拡張